

GLB CO.,LTD

DATA VIEWER

Nakazeki
2009/04/09

- 0. はじめに

- 1. ウィンドウ説明
 - 1.1 メインウィンドウ
 - 1.2 設定ウィンドウ（表示設定）
 - 1.3 設定ウィンドウ（関連づけ）
 - 1.4 読み込み中ウィンドウ
 - 1.5 検索ウィンドウ
 - 1.6 プリントウィンドウ
 - 1.7 プリント設定ウィンドウ
 - 1.8 追加ウィンドウ
 - 1.9 変更ウィンドウ

- 2. 操作方法
 - 2.1 ファイルの選択
 - 2.2 ファイルを開く
 - 2.3 ファイル名の変更
 - 2.4 ファイルの削除
 - 2.5 ファイルの検索
 - 2.6 パターンマッチ
 - 2.7 表示するデータの設定
 - 2.8 関連付け
 - 2.9 他のアプリケーションヘデータを送る
 - 2.10 BMP, JPGファイルをGLDファイルとして扱う
 - 2.11 メインウィンドウを常に手前に表示する

 - 2.12 印刷
 - 2.12.1 印刷の実行
 - 2.12.2 印刷するイメージデータの追加と削除
 - 2.12.3 印刷するイメージデータ内容の変更
 - 2.12.4 印刷するイメージデータの順番を変更する
 - 2.12.5 印刷用紙の設定
 - 2.12.6 印刷の設定
 - 2.12.7 印刷のプレビュー

0. はじめに

本ソフトウェアを使用して頂き誠にありがとうございます。

本ソフトウェアは、3Dデータ (GLD, JSD, DXF, STL) 及び、2Dデータ (BMP, JPG) のデータ管理用に開発されています。

本ソフトウェアの特徴は下記の通りです。

特徴

- エクスプローラ風のインターフェイス
- 2D(*1)データ及び、3D(*2)データの一覧表示
- 表示可能データの検索
- 特定アプリケーションの起動
- ファイル名の変更
- 他のアプリケーションにドラッグ&ドロップによるデータの送信(*3)
- 一覧表示されているイメージデータのプリントアウト *4

*1 BMPデータ、JPGデータのみ対応

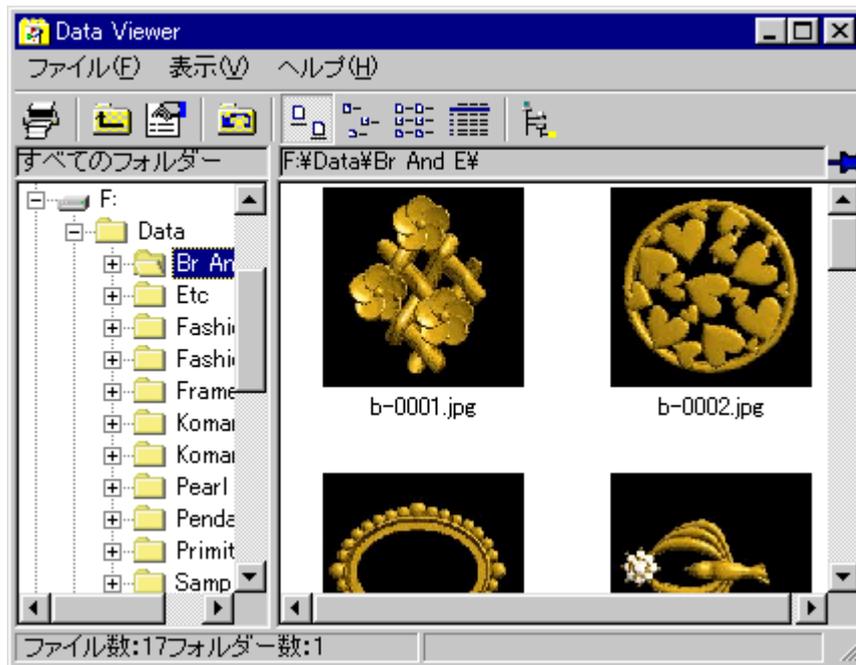
*2 GLDデータ、JSDデータ、DXFデータ、STLデータのみ対応

*3 受け取る側のアプリケーションがドラッグ&ドロップに対応している必要があります

1. ウィンドウの説明

1.1 メインウィンドウ

アプリケーションを起動すると、このウィンドウが表示されます。



このウィンドウで操作を行います。

メニューの「表示」項目より、「ツールバー」、「ステータスバー」、「ツリー表示」の表示、非表示の設定ができます。

また、一覧表示上で、マウスの右クリックをすると表示される、ポップアップメニューより、メインウィンドウ上部にある「メニュー」の表示、非表示の設定も可能です。すべて非表示にすることにより、一覧表示のみにすることも可能です。

また、このメインウィンドウは、常に手前に表示することもできます。詳しくは、「2.11 メインウィンドウを常に手前に表示する」を参照してください。

1. ウィンドウの説明

1.2 設定ウィンドウ (表示設定)

<メインウィンドウ>

<メニュー> 「表示」 -> 「オプション」
「ポップアップメニュー」 -> 「オプション」

<ボタン> 

このウィンドウで、一覧表示するデータの設定を行います。



各設定項目にチェックを付けると、それに応じて一覧表示されます。

ここで「イメージデータ」とはBMP(ビットマップ)、JPG (Jpeg) 2種類のデータを示します。

「GLDファイルと同名ファイルのみ表示」にチェックすると、同じフォルダ内に、同名のGLDファイルが無いイメージデータは表示されなくなります。

また設定項目を変更し、「OK」ボタンを押すと一覧表示の更新が行われます。

「大きいアイコン」のアイコンサイズを変更する事により、メインウィンドウの「大きいアイコン」の表示サイズが変更されます。
大きさの単位はピクセルです。

***ファイルの属性で「隠しファイル」に設定されている場合は表示されません。**

1. ウィンドウの説明

1.3 設定ウィンドウ（関連づけ）

<メインウィンドウ>

<メニュー> 「表示」 -> 「オプション」
「ポップアップメニュー」 -> 「オプション」

<ボタン>



このウィンドウで、アプリケーションの関連づけを行います。



関連づけるアプリケーションの設定は、このウィンドウのテキストボックス内に関連づけるアプリケーションのパスを記入する事により行います。

記入に関しては、テキストボックスの隣にある「参照」ボタンを押すと、比較的容易に選択することができます。

このウィンドウで、関連づけするアプリケーションを設定しないと、Windows上で関連づけられているアプリケーションが起動します。

但しこの関連づけは本ソフトウェア上のみ有効です。

「常に新規起動する」にチェックを付けると、同じ種類のファイルを開く度に、常にアプリケーションを起動します。チェックを付けないと、2回目以降は1回目に起動させたアプリケーションにデータを送る様になります。

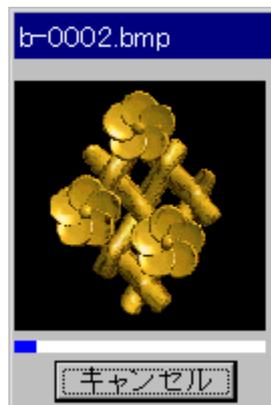
データを送る方法は「2.9 他のアプリケーションヘデータを送る」を参照してください。

「BMP, JPGファイルをGLDファイルとして扱う」にチェックを付けると、ファイルを開く時及び、ドラッグ&ドロップする時に、拡張子をGLDに変えます。詳しくは「2.10 BMP, JPGファイルをGLDファイルとして扱う」の説明を参照してください。

1. ウィンドウの説明

1.4 読み込み中ウィンドウ

一覧表示するデータの読み込み中にこの画面が表示されます。



このウィンドウ内のキャンセルボタンを読み込み中に押すと、読み込みを中断します。メインウィンドウには、キャンセルボタンを押すまでに読み込まれたデータのみ表示されます。

1.5 検索ウィンドウ

<メインウィンドウ>

<メニュー> 「ファイル」->「検索」

<ボタン> 無し



1. ウィンドウの説明

このウィンドウにて、ファイルの検索を行えます。

検索の方法は、検索する場所、検索するファイル名をそれぞれ入力します。

その後「検索開始」ボタンを押す事によりファイルの検索を開始します。

検索対象となるファイルは、一覧に表示可能なデータのみです。

また検索する場所の中にフォルダが存在すると、その中にあるファイルも検索の対象となります。

検索の結果は、ウィンドウ下部のリストに表示されます。 検索の結果、検索対象フォルダ内に見つからない場合はリストに「No Files」と表示されます。

検索結果のリスト内のパスをダブルクリックすると、メインウィンドウが最新の情報に更新され、検索ウィンドウで選択したファイルが選択状態となります*1。

*1検索後ファイル名などを変更すると、正常に選択されずエラーになります。

1.6 プリントウィンドウ

<メインウィンドウ>

<メニュー> 「ファイル」->「プリント」

<ボタン>



このウィンドウで、各種プリントアウトの設定、プリントアウトを実行します。



1. ウィンドウの説明

各種プリントの設定や、使用するプリンターの設定、プリントアウトの実行等は、メニューや、ツールバーのボタンより行います。

またメインウィンドウと同様に、プリントウィンドウのメニュー「表示」より、ツールバー、ステータスバー、ファイルリスト、プレビューの表示、非表示の設定が行えます。

プレビューに表示されているイメージデータは、ファイルリスト内で印刷名が青色に表示されます。

通常プレビューには、印刷領域を表示しています。ウィンドウ下部にあるステータスバーには、表示しているページ数、印刷する総データ数、プリンタ名が表示されています。

1.7 プリント設定ウィンドウ

<プリントウィンドウ>

<メニュー> 「ファイル」->「プリント設定」



<ボタン>



このウィンドウにて、プリントアウト時の設定を行います。

1. ウィンドウの説明

1.8 追加ウィンドウ

<プリントウィンドウ>

<メニュー> 「リスト」->「追加」

<ボタン> 



イメージデータのパス及び、印刷するデータ名を設定して追加します。
プレビューボタンを押すと、イメージデータのパスに設定されているデータが右側に表示されます。

またこの時、イメージデータのサイズや、制作日が表示されます。

1.9 変更ウィンドウ

<プリントウィンドウ>

<メニュー> 「リスト」->「変更」

<ボタン> 



このウィンドウの基本操作は、追加ウィンドウと同じです。

2. 操作方法

2.1 ファイルの選択

<メインウィンドウにおけるファイルの選択>

一覧表示されているデータを左クリックする事により、ファイルを選択できます。選択されたファイルは、ファイル名が青く強調されます。

ファイルを開く、ファイル名の変更、ファイルの削除、ファイルのドラッグ&ドロップ等は、この選択されたファイルについて行われます。

<プリントウィンドウにおけるファイルの選択>

プリントウィンドウにおいては、ファイル一覧に表示されているファイル名を左クリックする事によりファイルが選択されます。

プレビュー側でのファイルの選択はできません。

ファイルを開く、変更、名前の変更、削除については、この選択されたファイルについて行われます。

2.2 ファイルを開く

<メインウィンドウ>

<メニュー> 「ファイル」 -> 「開く」
「ポップアップメニュー」 -> 「開く」

<ボタン> 無し

<その他> 一覧をダブルクリック

設定ウィンドウ（関連づけ）で設定されたアプリケーションでファイルが開きます。但し設定がされていない場合は、マイコンピュータ等で関連づけられているアプリケーションで開かれます。

3Dデータについては、同一のアプリケーションが開きます。

設定ウィンドウ（関連づけ）において、「BMP, JPGファイルをGLDファイルとして扱う」にチェックすると、2Dファイルと同名のGLDファイルが選択されたとし、アプリケーションが起動します。

2. 操作方法

関連付けされているアプリケーションが既に起動している場合、オプションにて「常に新規起動する」に設定されていない場合は、アプリケーションは起動せずに、データが送られます。

選択されているのがフォルダの場合、一覧表示が選択されているフォルダに変更されます。

<プリントウィンドウ>

<メニュー> 「ファイル」 -> 「開く」
「ポップアップメニュー」 -> 「開く」

<ボタン> 無し

<その他> ファイルリストをダブルクリック

選択されているイメージファイルが、どの部分に印刷されるかをプレビューに表示されます。

表示されているページ内に選択されているイメージファイルが含まれていない場合、自動的にページが変更されます。

2.3 ファイル名の変更

<メインウィンドウ>

<メニュー> 「ファイル」 -> 「名前の変更」
「ポップアップメニュー」 -> 「名前の変更」

<ボタン> 無し

<その他> 一覧表示内の選択されたアイテムをクリック

一覧表示しているファイル名及び、フォルダ名の変更をします。
但し同名のファイル名が既に存在するとき、ファイル名の変更はキャンセルされます。

イメージデータのファイル名を変更する場合、同名のGLDファイルが存在すると、GLDファイルの名前も一緒に変更する事ができます。

この時、イメージデータの表示設定で「GLDファイルと同名のファイルのみ表示」に設定されていて、GLDファイル名を一緒に変更しなかった場合、イメージデータは表示されなくなります。

これは、GLDファイル名のみを変更した場合についても同様に、イメージデータ名を変更しないと、イメージファイルは表示されなくなります。

2. 操作方法

<プリントウィンドウ>

プリントウィンドウでは、ファイル名を変更することはできません。

印刷するイメージデータ名の変更の仕方は「2. 12. 3 印刷するイメージデータ内容の変更」を参照してください。

2.4 ファイルの削除

<メインウィンドウ>

<メニュー> 「ファイル」->「削除」

「ポップアップメニュー」->「削除」

<ボタン> 無し

選択状態のファイルまたは、フォルダを削除することができます。

「削除」されたファイルは、「ごみ箱」に移動されます。

同一フォルダに同名のGLDファイルが存在するイメージデータを削除する時、一緒に同名のGLDファイルの削除もすることができます。

またイメージデータの表示設定で「GLDファイルと同名のファイルのみ表示」に設定されていて、同一フォルダに同名のイメージデータが存在するGLDファイルのみを削除すると、イメージデータは表示されなくなります。

但し、この場合イメージデータは削除されていません。

<プリントウィンドウ>

プリントウィンドウでは、ファイルの削除はできません。

ファイルリスト内からイメージデータを削除する方法については、「2. 12. 2 印刷するイメージデータの追加と削除」を参照してください。

2. 操作方法

2.5 ファイルの検索

<メインウィンドウ>

<メニュー> 「ファイル」->「検索」

<ボタン> 無し

ファイルの検索は、検索ウィンドウにより行います。

検索ウィンドウで検索するフォルダと検索するファイル名を指定して、検索を行う事ができます。

検索対象とするファイル名を入力し、検索開始ボタンを押すと、検索が開始されます。

検索対象とするファイル名の指定には、パターンマッチが使用できます。

指定したフォルダのサブフォルダ内も検索をします。

また**検索するファイルは、設定ウィンドウ（表示設定）で表示に設定されているファイルのみの検索になります。**

検索中「閉じる」ボタンは「中止」ボタンとなり、そのボタンを押すことにより、検索を途中で中止することができます。

検索の結果、「検索する名前」で指定したファイルが存在すると、その結果がリストアップされます。

リストアップされたパスをダブルクリックすることにより、メインウィンドウでそのファイルが選択状態になります*1。

*1検索後ファイル名などを変更すると、正常に選択されずエラーになります。

<プリントウィンドウ>

プリントウィンドウでは、ファイルの検索は行えません。

2. 操作方法

2.6 パターンマッチ

ファイルの検索を行う際に指定するファイル名には、パターンマッチ文字が使用できません。

パターンマッチ文字とは下記の文字を示します。

? -----任意の一文字
* -----0 個以上の文字
-----文字の数字

A?. bmp -----> AA. bmp、AB. bmp、A1. bmp、A5. bmp等
A*. bmp -----> AA. bmp、AAA. bmp、AS1. bmp、A-0001. bmp等
A.* -----> A. bmp、A. jpg、A. jsd等
A#. bmp -----> A 1. bmp、A2. bmp、A3. bmp等

2.7 表示するデータの設定

設定ウィンドウ（表示設定）により、表示するデータの設定を行います。

設定ウィンドウ（表示設定）において、表示したいデータにチェックを付けて下さい。
イメージデータは、BMPデータ、JPGデータを示します。

「GLDファイルと同名ファイルのみ表示」にチェックすると、同じフォルダ内に、同名のGLDファイルが無いイメージデータは表示されなくなります。

*初期設定の状態では、チェックが入っています。

*ファイルの属性で「隠しファイル」に設定されている場合は表示されません。

2.8 関連づけ

メインウィンドウにおいて、「ファイルを開く」命令により起動するアプリケーションを指定します。

指定は、設定ウィンドウ（関連づけ）において行います。

設定ウィンドウ（関連づけ）内において、「常に新規起動する」にチェックすると、データをアプリケーションに送ることはせず、新規にアプリケーションを起動します。

ここで関連づけをしないと、マイコンピュータ等で関連付けされているアプリケーションが起動します。

マイコンピュータ等でも関連付けが設定されていないファイルについては、エラーとなります。

この場合は、設定ウィンドウ（関連づけ）にて設定を行ってください。

2. 操作方法

2.9 他のアプリケーションにデータを送る

一覧表示されているデータを、他のアプリケーションにドラッグ&ドロップすることにより、データを送ることができます*1。

また「DataViewer」からアプリケーションを起動した場合、2度目以降、同じ拡張子のファイルを開くと、前に起動されたアプリケーションにデータが送られます。

このとき「DataViewer」は、「Alt」+「F」->「Alt」+「O」->「ファイル名」の順でキーコマンドを送ります。

このため、このキー操作でファイルを開けないアプリケーションでは、正常にデータを送れません。

また設定ウィンドウ（関連づけ）で、「常に新規起動する」にチェックを付けていると、データを送らず新規にアプリケーションを起動します。

*1但し送られる側のアプリケーションがドラッグ&ドロップに対応している必要があります。

注意

ダブルクリックによるデータの送信では、送信中にキーボードなどが押されてしまっていると、正常にデータを送信できなくなる場合があります。

より確実にデータを送るために、送られる側のアプリケーションがドラッグ&ドロップに対応している場合は、なるべくドラッグ&ドロップによるデータ送信をしてください。

2.10 BMP, JPGファイルをGLDファイルとして扱う

設定ウィンドウ（関連付け）において、「BMP, JPGファイルをGLDファイルとして扱う」に設定すると、BMPファイルとJPGファイルをGLDファイルとして他のアプリケーションに送る事ができます。

メインウィンドウのステータスバーにファイル名が表示されるので、どの様に変更されるか確認できます。

このとき「DataViewer」内では次のようなファイル名の変換を行っています。

ex.

C:¥Data¥t-001. BMP --変換--> C:¥Data¥t-001. GLD

上記の例の様にファイル名の拡張子のみ変えます。

よって、BMP, JPGファイルと同じフォルダにGLDファイルを入れておいて下さい。もし同じフォルダに無い場合は、正常に送る事ができません。

<キーボード操作による強制変更>

ダブルクリックや、ドラッグ&ドロップを行う際に下記のキーを押すことにより、ファイル名が変更されます。

2. 操作方法

<キー操作>

[Ctrl]キー

表示されているファイル名を使用（強制的にファイル名GLDに変更しない）

ex.

C:¥Data¥t-001. BMP --変換--> C:¥Data¥t-001. BMP

[Shift]キー

JSDファイルに変更

ex.

C:¥Data¥t-001. BMP --変換--> C:¥Data¥t-001. JSD

但し「BMP、JPGファイルをGLDファイルとして扱う」が設定されているときに限ります。

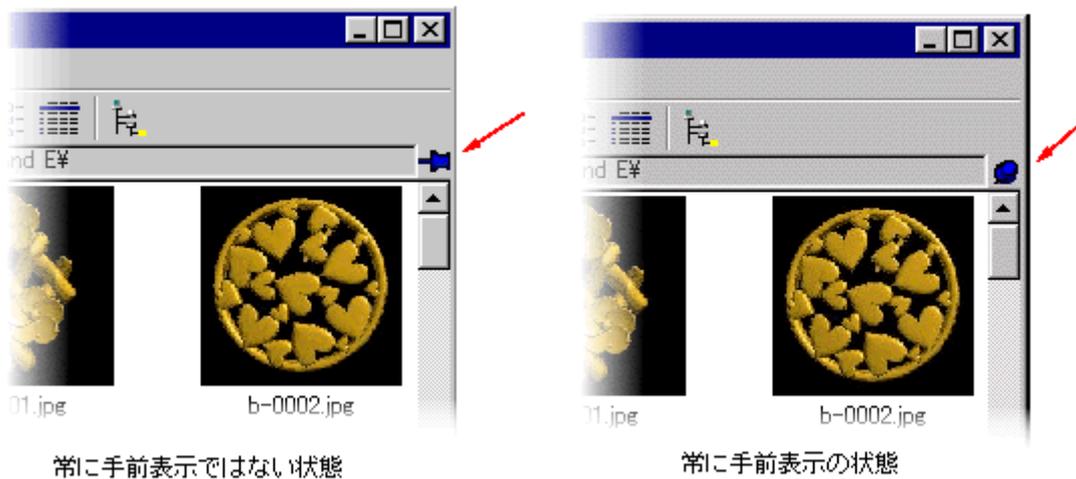
2. 操作方法

2.11 メインウィンドウを常に手前に表示する

メインウィンドウ左上部にある青いピンが、常に手前に表示されているかを表します。

-  (立った状態) : 常に手前表示になっている
-  (横の状態) : 常に手前表示になっていない

この青いピンをクリックする事により常に手前表示の設定を行います。



但し、印刷の為にプリントウィンドウを表示させると、常に手前表示は解除されます。常に手前表示にする場合は、再度青いピンをクリックして、設定しなおしてください。

2. 操作方法

2.12 印刷

2.12.1 印刷の実行

印刷は、すべてプリントウィンドウから行います。

<メインウィンドウ>

<メニュー> 「ファイル」->「印刷」

<ボタン>



メインウィンドウのメニュー「ファイル」->「印刷」を選択すると、表示されているフォルダ内のイメージデータをファイルリストに追加した状態でプリントウィンドウが表示されます。

但しファイル属性が「隠しファイル」に設定されている場合追加されません。

<プリントウィンドウ>

<メニュー> 「ファイル」->「印刷」

<ボタン>



プリント設定等を設定後、プリントウィンドウ内のメニュー「ファイル」->「印刷」を選択すると、「印刷」のダイアログが開きます。

ダイアログ内のOKボタンを押すことにより、印刷が行われます。

2.12.2 印刷するイメージデータの追加と削除

通常プリントウィンドウが表示される時に、メインウィンドウにて一覧表示されているイメージデータがファイルリストに追加されます。

<リストへの追加>

<プリントウィンドウ>

<メニュー> 「リスト」->「追加」
(1ファイルごとに追加)

「リスト」->「フォルダ指定で追加」
(指定したフォルダ内のファイルをすべて追加)

<ボタン>



(追加)



{ (フォルダ指定で追加)

2. 操作方法

メニュー「リスト」->「追加」を選択すると追加ウィンドウが開きます。
追加ウィンドウにて追加するファイルを設定して追加ボタンを押し、追加を行います。
メニュー「リスト」->「フォルダ指定で追加」を選択すると、フォルダを選択するためのダイアログが表示されます。
追加したいフォルダを選択してOKボタンを押すと、選択されたフォルダ内に存在するBMP、JPGファイルがすべて追加されます。
この時、印刷するデータ名は、ファイル名になります。
必要に応じて変更してください。

またファイルリストへ、追加したいイメージファイルをドラッグアンドドロップをしても追加することができます。
この場合も、データ名は、ファイル名になります。

但しファイル属性が「隠しファイル」に設定されている場合追加されません。

<リストからの削除>

<プリントウィンドウ>

<メニュー> 「リスト」->「削除」

(1ファイルごとに削除)

「リスト」->「クリア」

(リスト内のファイルをすべて削除)

<ボタン>  (削除)

削除したいイメージデータを選択します。
メニュー「リスト」->「削除」を選択すると確認メッセージを表示した後リストより削除されます。

すべてを削除したい場合は、メニュー「リスト」->「クリア」を選択することによりすべてを削除できます。

2.12.3 印刷するイメージデータ内容の変更

<プリントウィンドウ>

<メニュー> 「リスト」->「変更」

「ポップアップメニュー」->「変更」

<ボタン>



印刷するイメージデータ内容の変更は、変更ウィンドウにて行います。
メニュー「リスト」->「変更」を押すと変更ウィンドウが開きます。

2. 操作方法

変更後、変更ウィンドウの変更ボタンを押すと、変更が行われます。

印刷するデータ名のみを変更したい場合は、リスト内で右クリックすると表示されるポップアップメニュー「名前の変更」でも行えます。

2.12.4 印刷するイメージデータの順番を変更する

<プリントウィンドウ>

<メニュー> 「リスト」->「上へ」

「リスト」->「下へ」

<ボタン>  (上へ)



(下へ)

<その他> ファイルリストのヘッダーをクリック

印刷するイメージデータは、下図の様にファイルリストの上から順に並べられます。

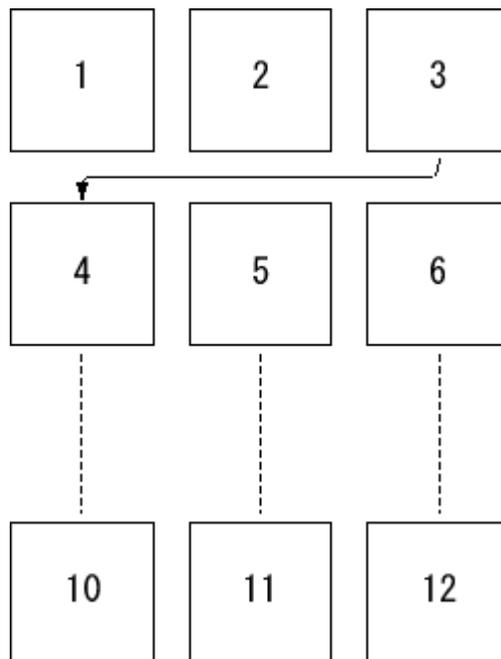


図 並べるデータ数を3 X 4とした場合のイメージデータの並び方

イメージデータの並びを変更するには、ファイルリストの並び順を変更する事により行います。

ファイルリストの並び順を変更するには、変更したいイメージデータを選択状態にします。

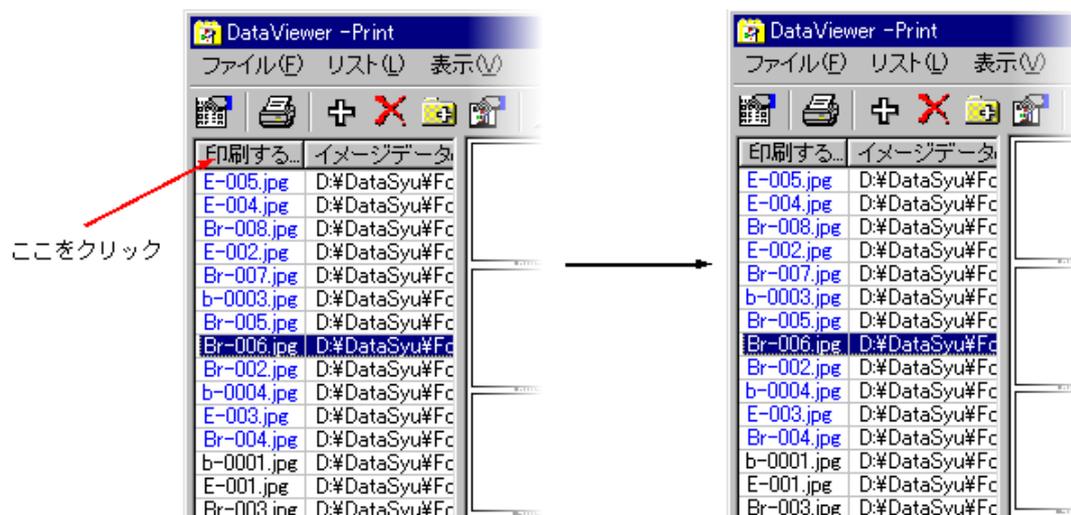
2. 操作方法

その後、上に移動させたい場合には、メニュー「リスト」->「上へ」を、下に移動させたい場合は、メニュー「リスト」->「下へ」を選択します。



また、ファイルリストのヘッダー部分をクリックすると、自動的にリストを名前順に並べ変えます。これは、クリックするたびに降順、昇順が変更されます。

但し、名前に日本語（全角文字等）を使用していると、希望どおりに並べ変わらない場合があります。



2.12.5 印刷用紙の設定

<プリントウィンドウ>

<メニュー> 「ファイル」->「プリンタ設定」

<ボタン> 無し

印刷用紙の設定は、メニュー「ファイル」->「プリンタ設定」により表示される、プリンタの設定ダイアログ内で行います。用紙の大きさ、印刷の向きを設定して、OKボタンを押します。すると設定がプレビューに反映されます。

2. 操作方法

2.12.6 印刷の設定

<プリンタウィンドウ>

<メニュー> 「ファイル」->「プリント設定」

<ボタン> 

印刷の設定は、メニュー「ファイル」->「プリント設定」により表示されるプリント設定ウィンドウにより行います。

印刷の設定項目には、下記の項目があります。

<マージン>

この項目は、上下左右の余白を設定します。(下図参照)

最大50mmまで設定可能です。

但し、ご使用するプリンターによっては、マージンの値を「0」にすると印刷がはみ出てしまう場合があります。

<間隔>

この項目では、印刷するイメージデータ間の縦、横の間隔を設定します。(下図参照)
最大20mmまで設定できます。

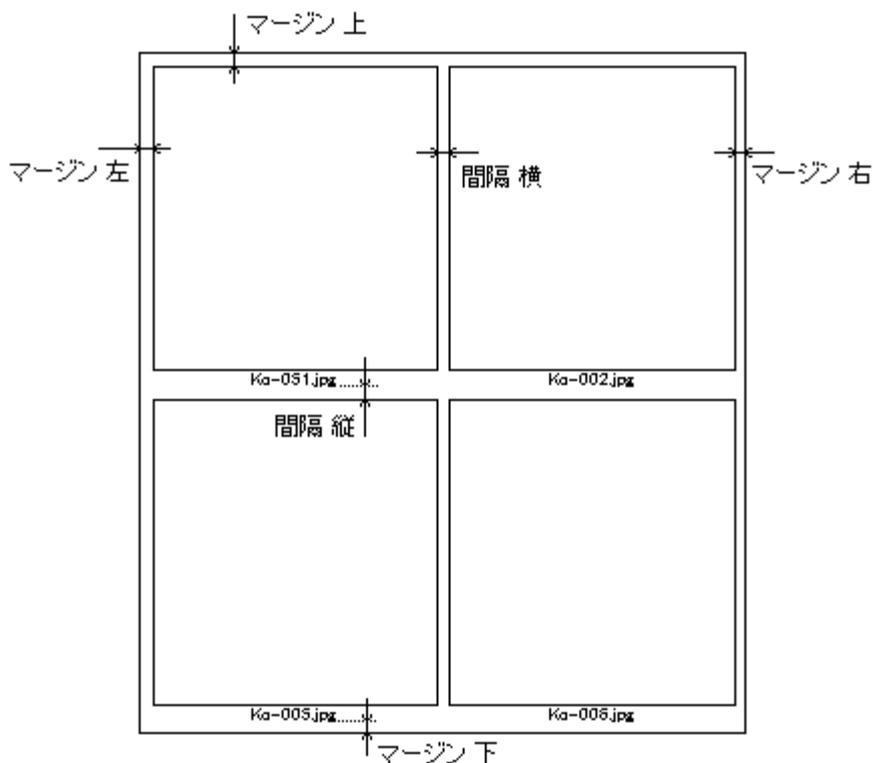


図 マージンと間隔

2. 操作方法

<データ名を印刷>

この項目では、印刷する時にイメージデータのデータ名を一緒に印刷するかを設定できます。

データ名を一緒に印刷する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。フォント設定ボタンを押すと印刷時のフォントを設定できます。

また印刷されるデータ名は、イメージデータを追加するときに設定したものになります。

<一枚あたりのデータ数>

この項目では、用紙一枚に並べるデータ数を設定します。

設定は、縦と横に並べる数を設定することにより行います。

この設定をすることにより、一データあたりの印刷領域が決定されます。

ここで、印刷領域とイメージデータの大きさが極端に違う場合、印刷される画質が劣化してしまいます。

<イメージデータの大きさを印刷領域最大にする>

この設定では、イメージデータの大きさが、印刷領域より小さい場合に拡大するかを設定できます。

<印刷領域を印刷する>

この設定では、印刷するときに印刷領域を印刷するかを設定できます。

印刷するように設定すると、印刷領域を黒枠で印刷します。

以上が印刷に関する設定項目です。

これらの設定は、プリントウィンドウのプレビューに反映されます。

設定した項目はプリントウィンドウが閉じられるときに自動的に保存されますが、次の場合は保存されません。

1. プリントウィンドウを閉じずに、DataViewerを終了した時。
2. その他の異常終了時。

2. 操作方法

2.12.7 印刷のプレビュー

印刷のプレビューは、プリントウィンドウのプレビューに表示されます。

<表示ページの変更>

<プリントウィンドウ>

<メニュー> 「表示」->「表示ページ」->「(希望ページ)」

<ボタン> 無し

印刷するイメージデータ数が、用紙一枚に収まらない場合に表示するページ数を変更する事ができます。

<イメージで一覧表示>

<プリントウィンドウ>

<メニュー> 「表示」->「イメージで一覧表示」

<ボタン> 

通常時プレビューには、印刷領域表示による簡易表示になっています。

実際に印刷されるイメージを表示するには、メニュー「表示」->「イメージで一覧表示」を選択して行います。この操作により、ファイルリストに登録されたイメージデータが表示されます。但し、設定変更や、表示ページの変更を行うと、印刷領域表示による簡易表示にもどります。

<表示倍率>

<プリントウィンドウ>

<メニュー> 「表示」->「ズームイン」
「表示」->「ズームアウト」

プレビューの大きさの変更は、メニュー「表示」->「ズームイン」、メニュー「表示」->「ズームアウト」により行います。

<特定データの印刷位置確認>

<プリントウィンドウ>

<メニュー> 「メニュー」->「開く」

<ボタン> 無し

特定データの印刷される位置を確認するには、確認したいデータをファイルリストで選択し、メニュー「ファイル」->「開く」で行います。

このメニューを実行すると、選択したデータのみがイメージ表示されます。

選択されたデータが、表示されているページに存在しないときは、自動的に存在するページに表示が切り替わります。